

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 2 年 2 部 2 年	教育・保育課程論	岡田 耕一	
サブタイトル	教育課程・保育課程の理解	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	(1 部 2 年) 前期 (2 部 2 年) 後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
[到達目標] 全体的な計画、教育課程の意義と編成方法を理解し、カリキュラム・マネジメントを理解する。 [具体的目標] 1. 幼稚園教育、保育所保育において教育課程、全体的な計画が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程、全体的な計画の編成の基本原理を理解し、指導計画の作成方法を習得する。 3. 保育の計画、実践、評価、反省の流れを理解し、カリキュラム・マネジメントの方法を修得する。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 教育・保育課程に関する専門的知識を修得することで、専門職としての知識・構成力及び表現力を身につける。 2. 幼児期の教育の独自性は、教科書を使わない指導法にある。そのために保育を多面的にとらえる視点を学び、自分の保育観を確立する中で、使命感・責任感を養う。			
授 業 の 方 法			
1. 学生の皆さんとの対話を大切にして授業を進めていく。授業中に幾つかの課題（質問）を与えるので、自分の意見や考えを積極的に発表してほしい。 2. 学生の皆さんの理解をさらに深めるために、授業内で簡単な小テスト、小レポートを実施する。 3. 予習、復習については、授業の中で説明する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト『保育の計画と評価を学ぶ』 加藤敏子、岡田耕一編著 萌文書林 2019 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
・ 主要な評価は定期試験である。 ・ 授業内の小レポートについても「総合評価割合」に示す通りに評価する。 ・ 受講態度に問題がある場合は、保育者を目指す学生としての倫理観が十分でないといみなし、ケースに応じて減点する。		定期試験 80% レポート 20%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. テキストを基に授業を進めるので、テキストを必ず持参すること。 2. 単なる知識として学習するのではなく、実習に役立てるという意識をもって授業に臨んでほしい。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	○ガイダンス ○授業 (1) 授業スケジュール、学習評価の方法について理解する (2) 実習に向けて自己評価をする	自己評価
2 回	○保育所の 1 日 (1) DVD を視聴し、保育所の 1 日を理解する (2) デイリープログラムについて学ぶ	保育者の援助
3 回	○全体的な計画① (1) 全体的な計画の必要性について学ぶ (2) 全体的な計画及び関連する各種計画・マニュアルについて学ぶ	全体的な計画の理解 各種計画の理解
4 回	○指導計画①、保育の計画と評価 (1) 指導計画の役割と種類について学ぶ (2) PDCA サイクルによる保育マネジメントについて学ぶ	指導計画の理解 評価する力
5 回	○保育理論の紹介 (1) EQ 教育について学ぶ (2) EQ 教育を保育実践の場で活用する	子どもと関わる能力
6 回	○遊びの指導と部分実習指導案の作成 (1) ルール遊びの指導方法について学ぶ (2) 部分実習指導案の作成方法について学ぶ	指導案作成能力
7 回	○発達過程と保育① (1) 発達過程と保育の基本原則について学ぶ (2) 0～3 歳の発達過程と保育について学ぶ	発達についての理解 保育能力
8 回	○発達過程と保育② (1) 4～6 歳の発達過程と保育について学ぶ (2) 3 歳児の保育について学ぶ (DVD 視聴)	発達についての理解 保育能力
9 回	○発達過程と保育③ 全体的な計画② (1) 4 歳児の保育について学ぶ (DVD 視聴) (2) 全体的な計画についてさらに学ぶ	保育能力 計画の理解
10 回	○指導計画 (1) 長期の指導計画について学ぶ (2) 短期の指導計画について学ぶ	計画の理解
11 回	○部分実習指導案の作成 (1) 第 6 回に引き続き、部分実習指導案の作成の仕方について学ぶ (2) 3 歳未満児の部分実習指導案について学ぶ	指導案作成能力
12 回	○責任実習指導案の作成 ○発達過程と保育④ (1) 3 歳児の責任実習指導案の作成の仕方について学ぶ (2) 5 歳児の保育について学ぶ (DVD 視聴)	指導案作成能力 保育能力
13 回	○異年齢保育 (1) 異年齢保育の実際を知る (DVD 視聴) (2) 異年齢保育の計画と進め方について学ぶ	異年齢保育の理解
14 回	○保育理論の紹介 (1) 倉橋惣三の保育理論について学ぶ (2) 倉橋惣三の「保育の一日」について学ぶ	保育理論
15 回	○学習のまとめ (1) これまでの講義の内容の復習・質疑応答 (2) 試験内容の説明をする	全体的な計画、教育課程、指導計画についての理解
試験	15 回の授業終了後、定期試験を実施する。	